

検査値の推移と顔・首症状を追った成人アトピーの経過（31 歳）

症例 ID：001-30-AH | 記録日：2016 年 11 月 13 日

1. 診断・治療前経過

目の周り、おでこ、あごから首にかけてアトピー症状が出ていました。5 年ほど、年 1～2 本のペースで中程度のステロイド外用薬を使用していました。

2016 年春に出た炎症は、これまで使っていたステロイドを塗っても抑えられませんでした。次により強いステロイドを処方されることへの危機感から、2016 年 4 月末に松本医院へ通院を始めました。初診時には、ステロイドを中止して 1 か月ほど経っており、炎症は広がり、首にピリピリしたかゆみがありました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	中程度のステロイド外用薬を年 1～2 本のペースで約 5 年間使用していました。
製品名	コロイド軟膏など。
強度	中程度です。
使用期間	約 5 年間。
中止時期	2016 年 4 月末の松本医院初診時点で、中止から約 1 か月が経過していました。
来院前／後	来院前に使用歴があります。来院後のステロイド使用は不明です。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
2016 年春	来院前	目の周り、おでこ、あご、首の炎症が、これまでのステロイドでは抑えられませんでした。
2016 年 4 月末	治療開始	松本医院に通い始めました。初診時にはステロイド中止後約 1 か月で、炎症が広がり、首がピリピリとかゆい状態でした。
開始後 1 週間以内	初期悪化	漢方と抗ヘルペス剤の内服開始後、1 週間も経たないうちに炎症が強くなりました。
2016 年 7 月頃まで	ピーク期	炎症の強い状態が 7 月まで続きました。初めは 1 週間周期で皮がめくれ、徐々に周期が短くなりました。6 月末頃には夜なかなか寝付けなかったことがあります。
2016 年 7 月中旬頃	赤みの軽減	目の周りやおでこの赤みはほとんどなくなりました。首のピリピリしたかゆみも 7 月頃にはなくなっていました。
2016 年 9 月末頃	2 回目のリバウンド	目の周りとおでこで炎症が再発しました。
2016 年 10 月頃	あご症状	あごの炎症が強くなり、首にも少しかゆみが出ました。抗ヘルペス剤を再開後、あごの炎症が軽くなってきました。

4. ピーク時期

ピークは、漢方と抗ヘルペス剤の開始後 1 週間以内から 2016 年 7 月頃まで続いた炎症の強い時期です。TARC は 7 月前後でピークを迎えたように見え、6 月末頃には夜なかなか寝付けなかったこともあります。

5. 患者さん・家族の困りごと

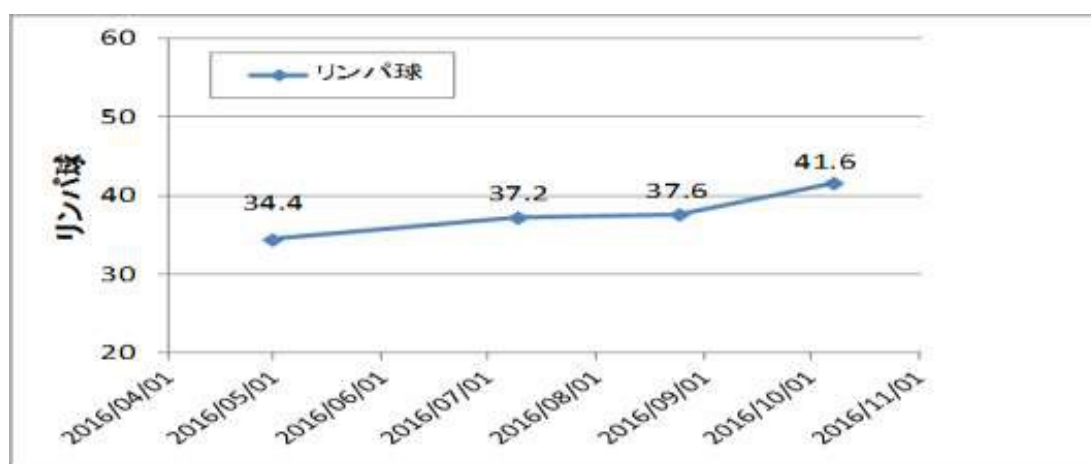
・ステロイドで炎症を抑えにくくなり、より強い薬への不安がありました。

- ・炎症が顔まわりに広がり、首のピリピリしたかゆみがありました。
- ・6月末頃には夜眠りにくい日がありました。
- ・9月末以降、2回目のリバウンドとして目の周りやおでこに再発がありました。

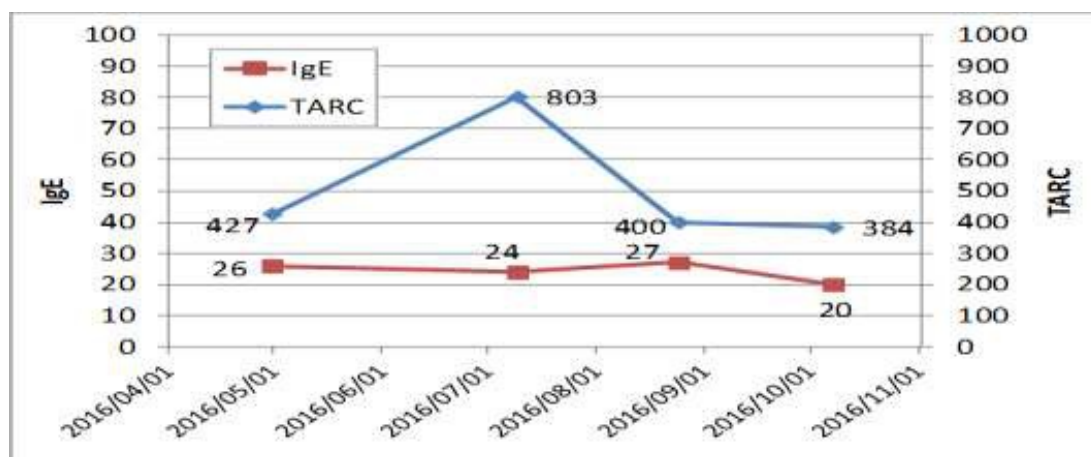
6. 検査値・写真・画像

※治療前後の比較ではなく、経過中にみられた症状や検査値の記録として掲載しています。

項目	内容
IgE	ほとんど横ばいで、10月時点で下がったように見える推移でした。
TARC	7月前後にピークを迎えたように見える推移でした。
その他	お腹、胸、背中に斑点状の黒ずみが出ましたが、時間の経過とともに少しずつ薄くなりました。



検査資料1：リンパ球比率の推移。



検査資料2：IgE・TARCの推移。

7. 経過のまとめ

2016年7月中旬頃には、目の周りやおでこの赤みがほとんどなくなり、首のピリピリしたかゆみも7月頃にはなくなりました。

9月末に目の周りとおでこの炎症が再発し、10月にはあごの炎症が強くなるなど、症状には波がありました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。